



For The Earth, For All The People

2023年3月期 決算説明会資料

株式会社 鶴見製作所
証券コード:6351

〈2023年6月5日〉

2023年3月期 決算まとめ

売上・営業利益ともに過去最高を達成

中期3ヶ年経営計画「NEXT100」の売上・利益目標を2年目で達成

配当について、上期に台湾工場の創業25周年と年間生産台数40万台突破記念配当で2円、下期に株式会社アロイテクノロジー(子会社)の鑄造工場竣工記念配当で2円、年間では4円増配

株式会社アロイテクノロジーの鑄造工場竣工

当社のグローバル成長戦略の一環として、ASEAN諸国及び周辺の新興国における生産・販売・流通・部材調達活動の確立と高度化を重要な課題と位置づけ、経営を進めた結果、タイ及びベトナム子会社が順調に成長し、当連結会計年度から、両社を連結対象子会社に組み込み

関係会社(ZENIT INTERNATIONALS.P.A.)の株式36%取得や連結対象子会社の増加など、グローバル戦略による経営基盤を強化した結果、総資産が増加

2023年3月期 連結決算ハイライト

Point

- 売上及び利益は海外向け販売が好調及び為替相場が円安に推移したことにより増収増益
(為替による売上・利益のかさ上げは15億円)

	2022年実績	2023年実績	前年度比	2024年予想
■ 売上高	512億円	562億円	+50億円	563億円
■ 営業利益	55億円	73億円	+18億円	67億円
■ 経常利益	74億円	90億円	+16億円	80億円
■ 当期純利益 <small>親会社株主に帰属する</small>	48億円	63億円	+15億円	56億円

※今期よりツルミポンプタイ・ツルミポンプベトナム・テクノロジーサービス北條を連結の範囲に含めております。

2023年3月期 連結実績

Point

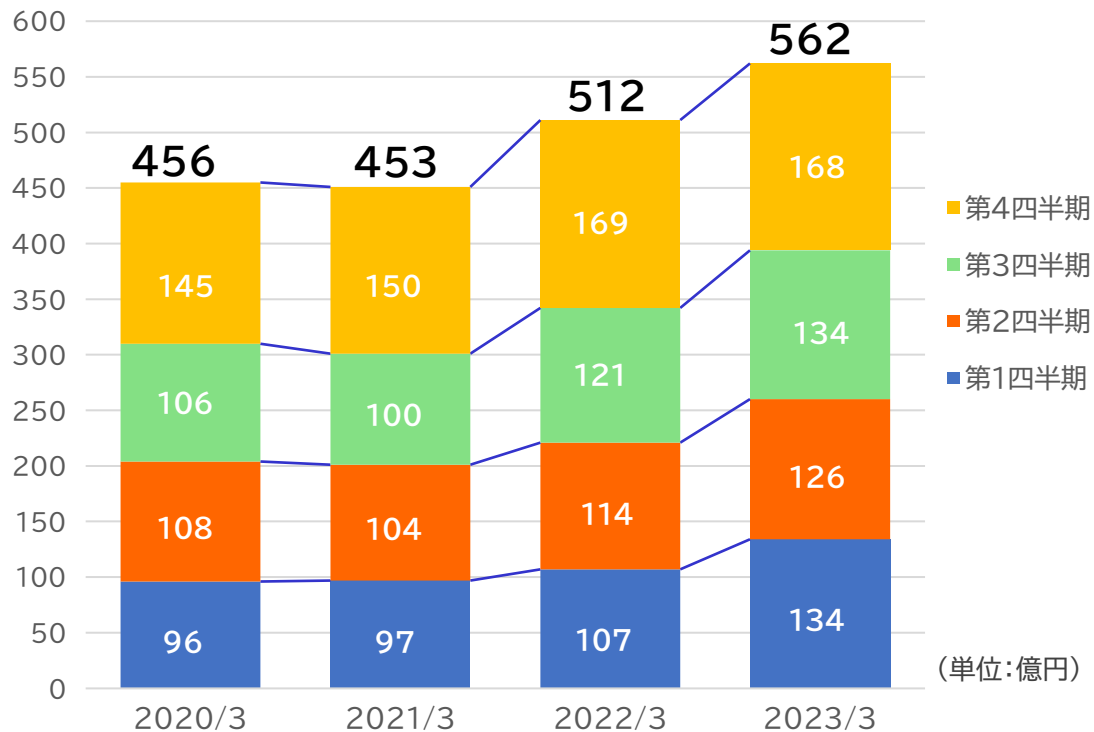
- 連結対象子会社(タイ・ベトナム)の増加要因も加わり、増収増益
- 海外子会社が好調→主に北米・香港・シンガポール

(単位:百万円)	2022年	2023年	増減	
	通期	通期	金額	%
売上高	51,214	56,219	5,005	9.8%
売上総利益	16,671	20,089	3,418	20.5%
販売費及び 一般管理費	11,162	12,825	1,663	14.9%
営業利益	5,508	7,263	1,755	31.9%
営業外収益	1,897	1,917	19	1.0%
経常利益	7,368	8,991	1,623	22.0%
親会社株主に帰属する 四半期純利益	4,817	6,262	1,445	30.0%
参考 為替レート				
対米ドル(円)	122.41	133.54		

連結貸借対照表

(単位:百万円)	2022年 3月末	2023年 3月末	増 減
資産合計	87,299	99,000	11,701
流動資産	52,940	61,876	8,936
固定資産	34,359	37,124	2,765
負債合計	15,451	20,839	5,388
流動負債	12,717	13,176	459
固定負債	2,733	7,662	4,929
純資産合計	71,848	78,161	6,312
自己資本比率	81.1%	77.7%	▲3.4%

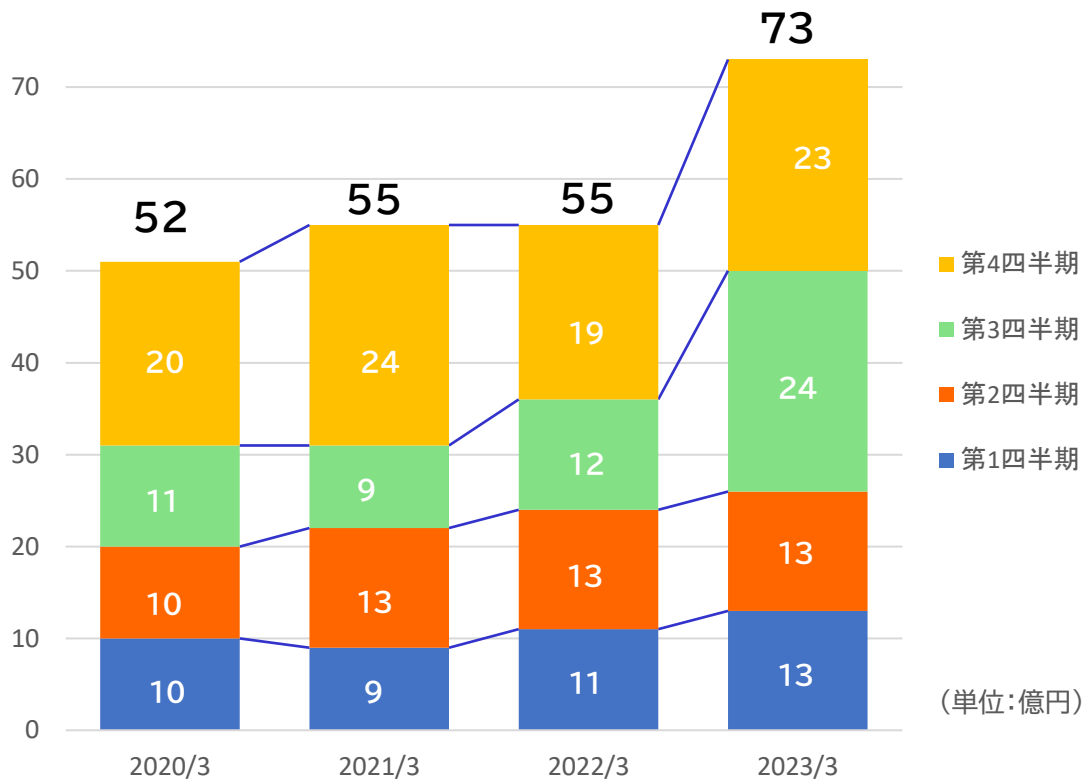
売上高推移表(連結)



Point

- 国内における環境に配慮した電極式水中ポンプの売上が好調
- 北米の鉱山市場が引き続き活況、建設市場の売上好調
- 香港・シンガポールを中心とした建設・設備市場の受注好調

営業利益推移表(連結)

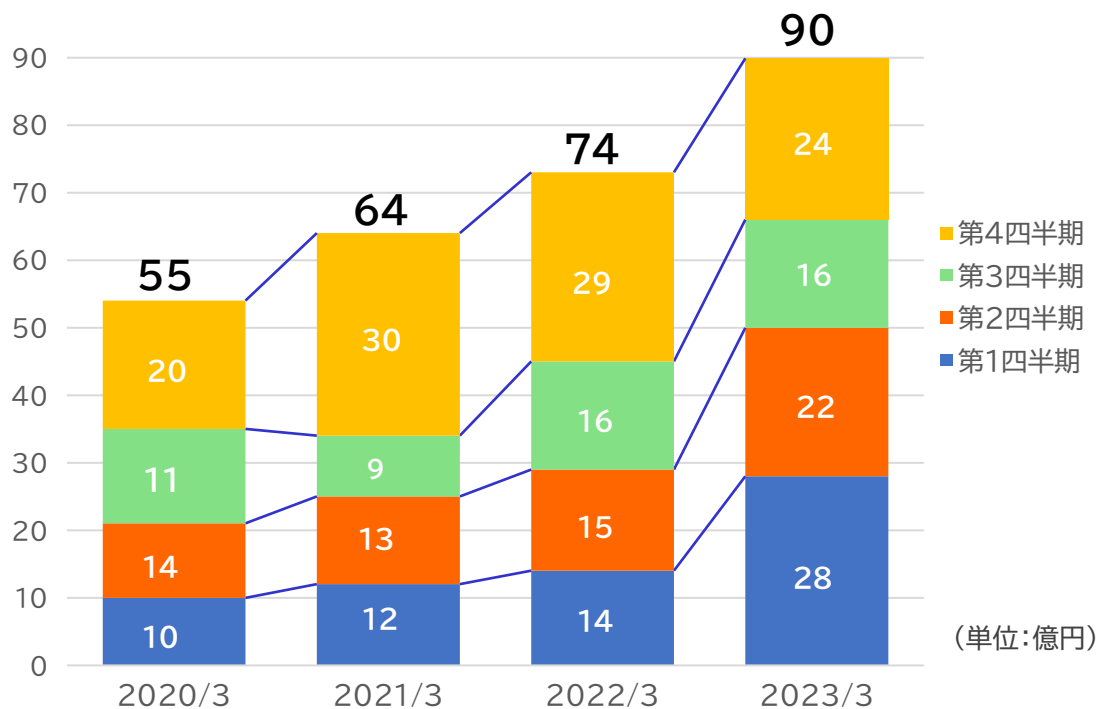


Point

■ 海外向け販売が好調であったことや、急激な円安に伴い、円換算後の外貨建ての売上・利益が上振れした影響等により増益

■ 引き続き部材価格の高騰と販管費(特に物流経費)の増加傾向は続いており、急激な為替レートの変動などもあり懸念材料も多い

経常利益推移表(連結)



Point

- 営業利益と同様の要因
- 為替相場が円安に推移したことにより増益

【参考】

前期末為替レート：122.41円

今期末為替レート：133.54円

売上高・営業利益(販売部門別)

Point

- 今期よりツルミポンプタイ・ツルミポンプベトナム・テクノロジーサービス北條が連結対象に追加

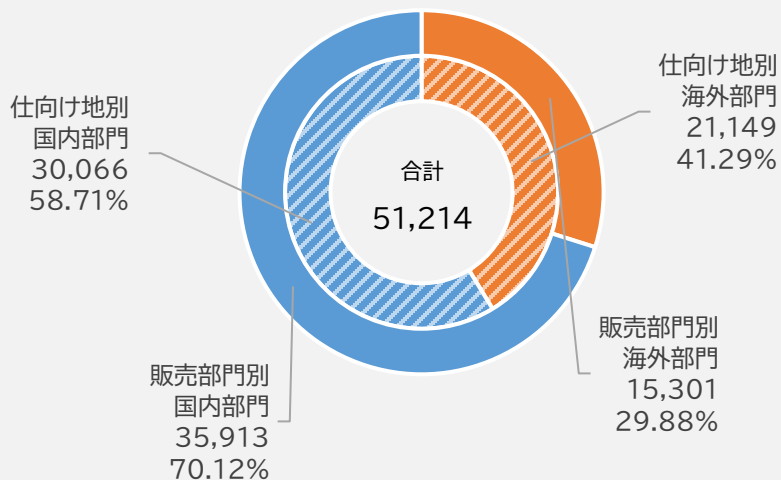
(単位:百万円)

	2022年3月期		2023年3月期	
	売上高	営業利益	売上高	営業利益
国内部門	35,913	4,420	36,006	5,623
前年増減率			+0.3%	+27.2%
海外部門	15,301	1,088	20,213	1,640
前年増減率			+32.1%	+50.7%
合計	51,214	5,508	56,219	7,263
前年増減率			+9.7%	+31.9%

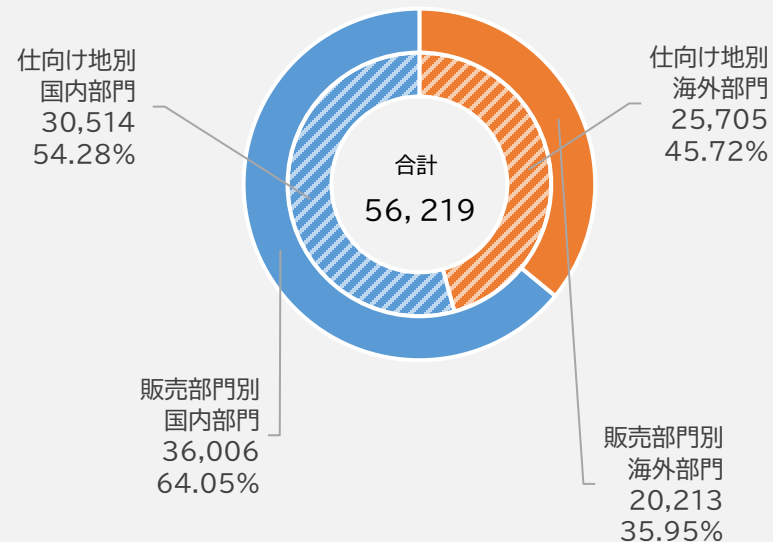
部門別売上構成比率

■ 海外部門 ■ 国内部門

2022年3月期



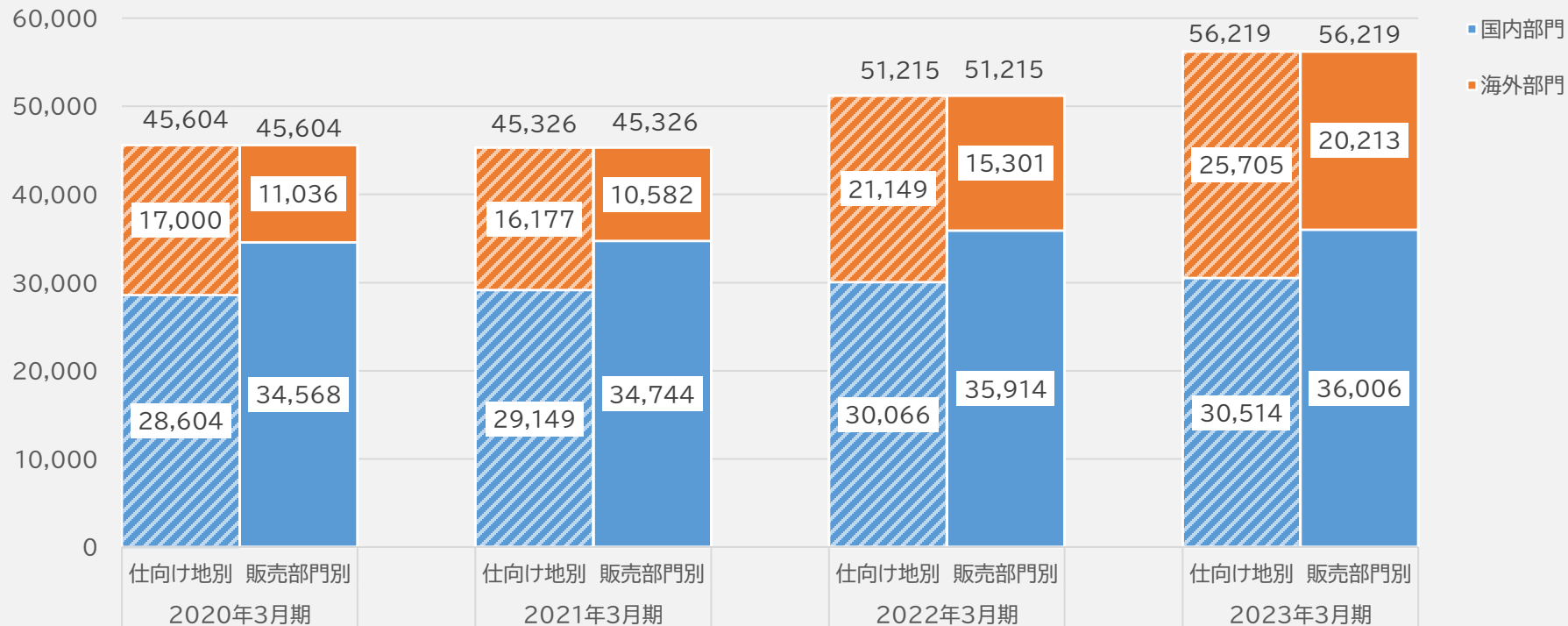
2023年3月期



(単位:百万円)

※仕向け地別 = 販売先の地域別の売上になります

売上高(仕向け地別・販売部門別)



(単位:百万円)

地域別売上高

Point

- 国内部門：前期比13.7%増
- 海外部門：北米地域：前期比31.2%増
 アジア地域：前期比55.2%増(タイ・ベトナム連結対象子会社に追加)
 中国地域：前期比9.6%増

(単位:百万円)

	日本	海外全体	海外内訳			合計
			北米	アジア	その他	
2023年3月期	36,006	20,213	12,392	5,697	2,124	56,219
前年増減率	+0.3%	+32.1%	+31.2%	+44.8%	+10.5%	+9.8%
2022年3月期	35,913	15,300	9,444	3,935	1,922	51,214

※・今期より、アジアにツルミポンプタイ・ツルミポンプベトナム、日本にテクノロジーサービス北條を追加しました。
 ・「その他」の区分は、中国の現地法人の事業活動を含んでおります。
 ・グループ内取引の消去後の数字です。

事業環境の変化への対応

事業環境の変化	対応	今後の取り組み
資源価格の高騰	<ul style="list-style-type: none"> ・価格改定 ・アロイテクノロジー(子会社)の鑄造工場竣工 	<ul style="list-style-type: none"> ・京都工場新棟建設 ・モータ内製化
サプライチェーンの混乱	<ul style="list-style-type: none"> ・生産効率向上や事業継続計画(BCP)対策の強化 	<ul style="list-style-type: none"> ・『ものづくり革新プロジェクト』の発足 ・グローバルな生産体制の確立
2024年物流問題	<ul style="list-style-type: none"> ・物流拠点の最適化検討 	<ul style="list-style-type: none"> ・東日本物流拠点(宇都宮市)の拡張
急激な為替レートの変動	<ul style="list-style-type: none"> ・マリー取引の活用 ・為替予約などによるリスクヘッジ 	

京都工場が次の100年に向けて “ものづくり革新プロジェクト”始動



新棟完成予想図
完成予定：2024年8月

主に水中ポンプ・システム機器の製造を担う

京都工場はポンプ業界で最高レベルの規模と設備を誇る生産拠点です。実験や研究のための設備も充実。開発から生産までの一貫体制で、小型から大型、特殊ポンプまであらゆるニーズにお応えします。今回、次の100年を見据えたものづくり革新を推進するため、新たに『ものづくり革新プロジェクト』を始動。その中で、ツルミの次世代へ向けたものづくりの象徴となる新工場棟を建設中です。京都工場の今後の進化にご期待ください。



太陽光発電システムを設置し、
脱炭素社会の実現に取り組みます。

新ブランドスローガン:6月使用開始

For The Earth, For All The People

地球のために、かかわるすべての人のために

世界で持続可能な開発に向けたさまざまな課題解決が求められるなか、
鶴見製作所では次の100年に向けて「社会」・「環境」をメインの課題とした活動をスタートしています。

持続可能な社会の実現に向けて、「地球」そして「かかわるすべての人」

この2つの軸を中心とした社会の課題解決に貢献することで、事業成長、そして企業成長に取り組んでまいります。

ブランドスローガンは、この2つの中心軸から誕生しました。



Earth

地球のために

2030年までに、再生エネルギーの活用、プラスチック廃棄物の削減、使用材料の見直し、DXの推進、低公害車の導入などを進めて、企業活動におけるCO₂排出量を削減する。

経営理念

水と人との
やさしい
ふれあい



People

かかわるすべての人のために

2030年までに、安心して暮らせる社会の実現及び、働きがい向上による企業活性化を目指す。

100周年ブランドスローガン

For The Earth, For All The People

サステナビリティへの取り組み

事業活動

関連するSDGs

Earth 地球のために

●環境長期目標「Green Plan 2030」

1. 自社活動における温室効果ガス排出量を2030年までに2014年度比で50%削減する
2. サプライチェーンの活動における温室効果ガス排出量原単位を2030年までに2014年度比で30%削減する

●気候変動関連の情報開示(TCFDに基づく開示)

当社は、TCFD提言に基づき、気候変動が事業にもたらすリスクと機会を分析し、財務面への影響について情報開示を進めてまいります。

●高効率・省エネ製品の提供によるCO₂削減

●地熱発電所等の再生可能エネルギー発電所に必要な製品の提供

●環境関連機器提供による水資源への貢献

●クリーンエネルギーへの転換

低公害車の採用や再生可能エネルギー電力への切替

●ISO14001に基づく環境マネジメントシステム



事業活動

関連するSDGs

People 関わる全ての人のために

●安心して暮らせる社会のために

水中ポンプを中心として水インフラや世界の水問題に対して、最適なソリューション提案・製品&サービスの提供

●働きやすい労働環境に貢献する製品の提供

●ダイバーシティ&インクルージョン

・女性活躍の推進

2026年3月31日までに、全部門に女性総合職の配置率100%を目標に活動しています。

・ワークライフバランスの実現

2025年3月31日までに、育児休業取得までの手順の整備・見直し及び制度の周知を行い、男性育児休業取得率40%を目標に活動しています

・障がい者雇用の促進

2021年4月1日に設立した特例子会社ツルミテクノロジーサービスのビジネスサポート部に、様々な業務に従事できる環境を整備することで、障がい者の自立と社会参加をより確かなものとする雇用促進に努めています。



●人材育成方針

職務遂行に必要な「意識」と「スキル」を段階的に高めることで、当社の持続的な発展を担う基幹人材を中長期的に育成・輩出していく方針です。さらに管理専門職に必要な多面的視点を養うため、若手・中堅社員におけるジョブローテーションを積極的に展開していきます。

●カヌースポーツの普及活動の推進

●地域医療を支える献血活動



人的資本経営への対応

人材育成方針

職務遂行に必要な「意識」と「スキル」を段階的に高めることで、当社の持続的な発展を担う基幹人材を中長期的に育成・輩出していく方針です。さらに管理専門職に必要な多面的視点を養う為、若手・中堅社員におけるジョブローテーションを積極的に展開していきます。






<具体的な取り組み>

市場と価値観の変化に応じたテーマで視座を高め、ディスカッションを通じた交流を促す「階層別研修」と各職種それぞれの専門知識を高める「技術・生産系教育」を軸に、システム要員向けのデジタル研修、資格取得や自己研鑽を促す通信教育、豊かな人生設計を啓発するDC継続教育など各種プログラムを織り交ぜる形で、1人1人の「成長を動機づける」人材育成に取り組みます。又、人事考課のフィードバックを通じた「成長の確認」を行うことで、エンゲージメントの一層の向上を目指します。

技術・生産系教育では、技術系教育プログラム(受講対象267名)に専門教育(Eラーニング)を導入し、イノベティブな技術開発に繋げる取り組みを進めると共に、社内で蓄積された知見や経験則をまとめたWEB教材を一元的に提供する体制を整えており、第72期は基礎レベルコース「ツルミオンライン」164講座を新システムに移管して、第73期からの本格運用に備えています。

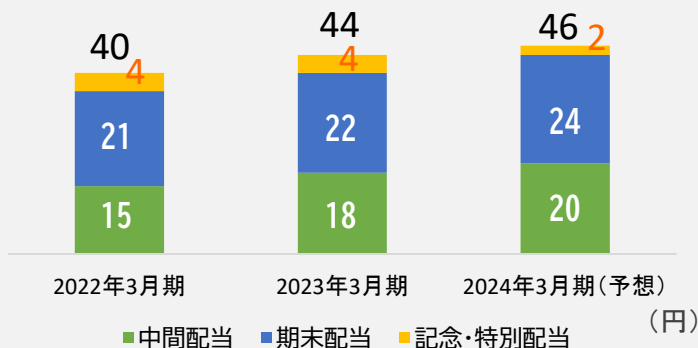
第72期上半期の人事考課フィードバックでは、すべての考課者を対象にWEB教育(人事考課フィードバック面談研修)を実施し、人事考課のフィードバックを通じた「成長の確認」を進めた結果、被考課者861名の所感では「考課面談でモチベーションが高まった割合」が62.6%に達しており、エンゲージメントの向上に繋がっています。

働きやすい職場環境の整備を積極的に推進した結果、次の評価をいただきました。

認定時期	内容	マーク
2016年～	大阪市「女性活躍リーディングカンパニー」認証	
2018年～	名古屋市「子育て支援企業」認定	
2019年～	新潟県「ハッピーパートナー企業」登録	
2021年～	「名古屋市ワーク・ライフ・バランス推進企業」認定	
2021年～	「えるぼし」(2つ星)認定	

配当および自己株式取得について

【1株当たりの配当金額の推移】



	記念配当	金額
2022年3月期中間	カヌースラローム記念	2円
2022年3月期期末	米子工場新工場棟竣工記念	2円
2023年3月期中間	台湾工場25周年・年間生産台数40万台突破記念	2円
2023年3月期期末	アロイテクノロジー竣工記念	2円
2024年3月期中間(予定)	水中ノンクログ型スマッシュポンプBN型の建設技術審査証明取得記念	2円

【自己株式取得の実施について】

目的:資本効率の向上および機動的な資本政策の実施など

取得期間:2022年4月1日から2023年3月31日

株式の取得価額の総額:805,903,300円

取得した株式の総数:424,500株(発行済株式総数(自己株式を除く)に対する割合1.73%)

取得に係わる事項:

- ・取得し得る株式の総数(上限):110万株(普通株式)
- ・株式の取得価額の総額(上限):25億円
- ・株式の取得期間:2023年5月29日~2023年11月8日

社内の取組みについて

1. 社内外のエンゲージメントを高めるため広報・IR課の設置 (2023年4月より)

2. 社員持株会に対して株式奨励金の特別支給

→2022年6月 (対象人数:1,053名 支給額:89,600,000円)

2023年6月 (対象人数:1,094名 支給額:90,200,000円 予定)

3. 社員持株会の株式奨励金(5%→10%)に増額 ※2023年6月末まで

→社員持株会員数:1,144名 加入率:95.6%

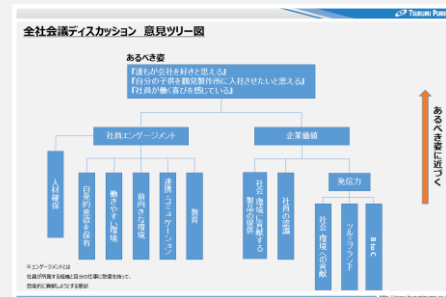
4. 執行役員に対する譲渡制限付株式の交付 (2022年7月)

→昨年は執行役員、本年は取締役にも拡大

5. 全社会議において管理職の「2030年、ツルミのあるべき姿」・「目指したい企業カルチャー」についてディスカッション

→参加者管理職158名 2時間の議論

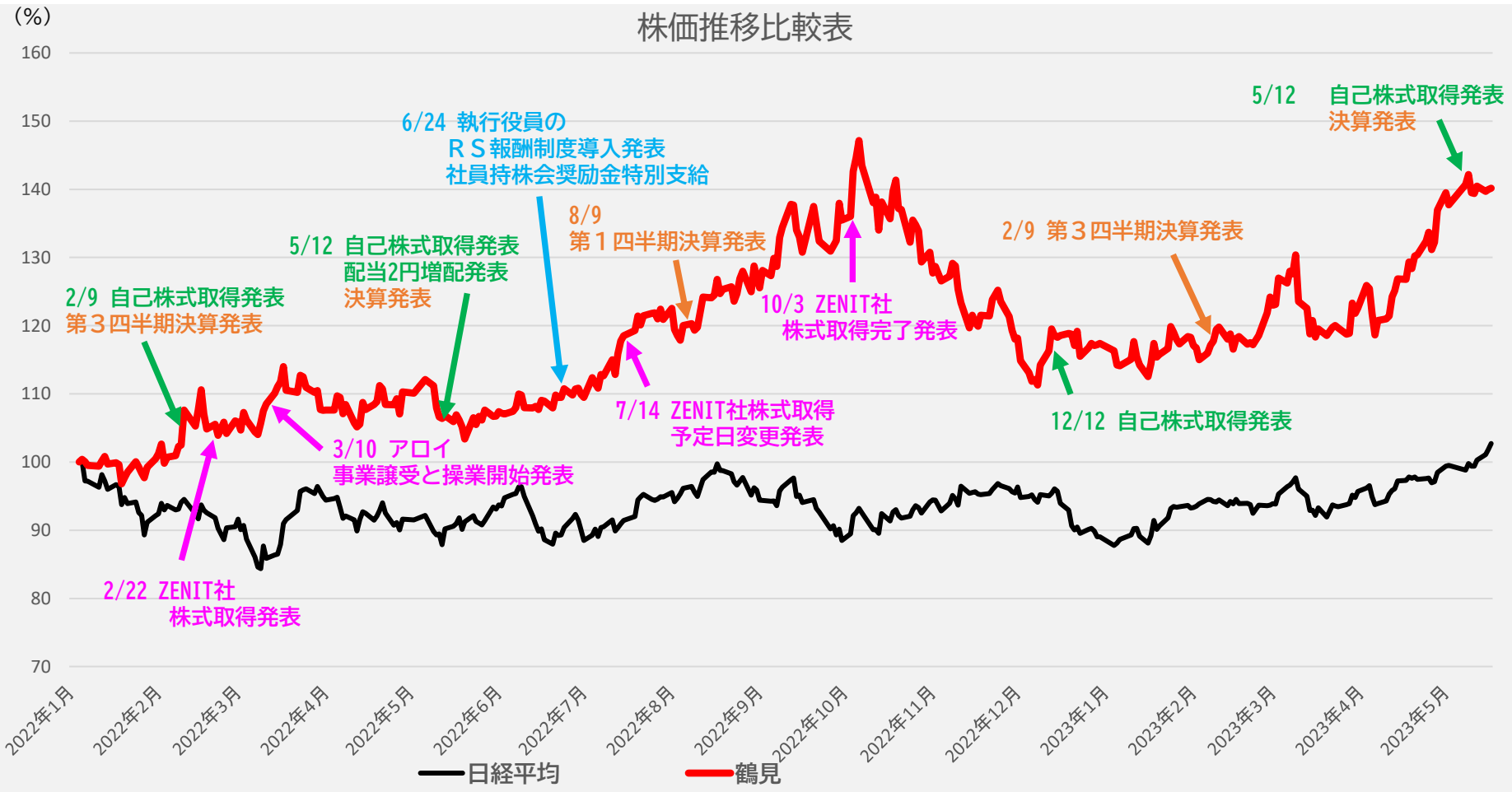
ツルミ2030グランドデザインチーム発足(2023年6月)



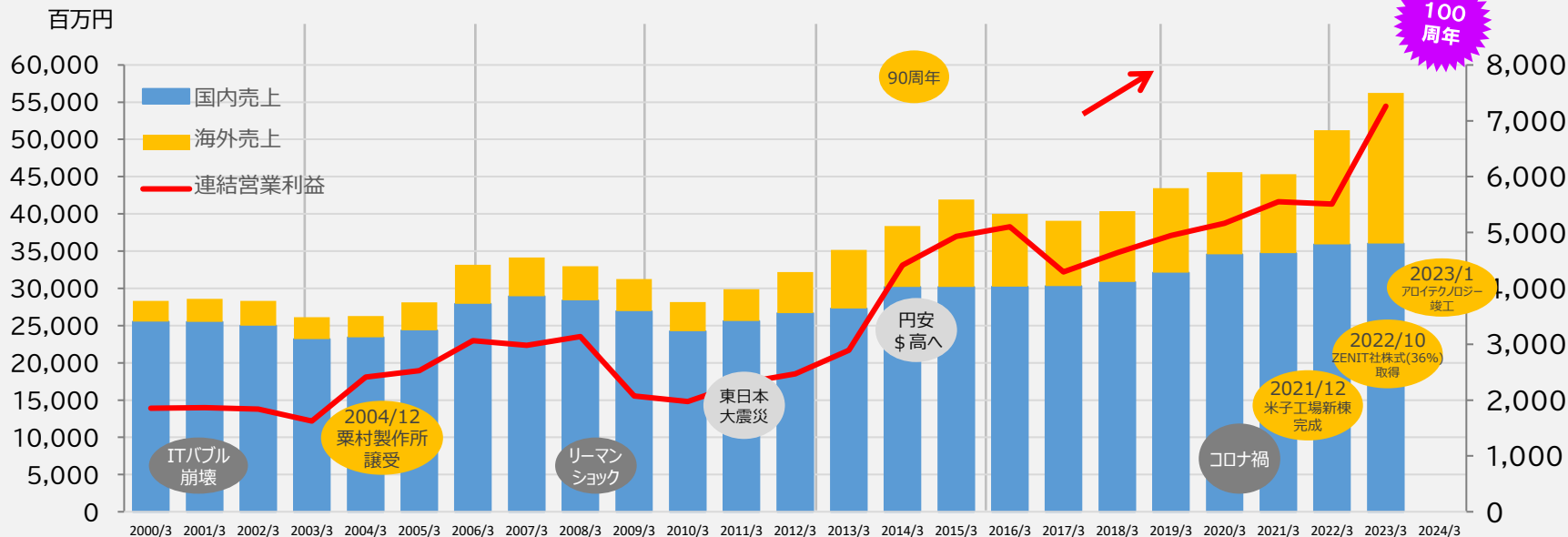
ディスカッション風景

全社会議ディスカッション 総括	
あるべき姿	<ul style="list-style-type: none"> ・誰もが会社を好きと思える ・自分の子供を鶴見製作所に入社させたいと思える ・社員が働く喜びを感じている
社員エンゲージメント	<ul style="list-style-type: none"> ・社員が、『自発的意欲を保有している』『社員の連携ができてい、職場環境が『働きやすい・前向きな・やりがいを感じられる職場になっている』 ・新人、キャリア職問わず一定水準まで到達する教育が実施され、管理職、中間層、若手社員に対して相互理解や指導方法を学ぶ機会が与えられる
企業価値	<ul style="list-style-type: none"> ・社会や環境に貢献する製品を提供して、『社会への貢献』や『会社の存在価値』を社員が認識し働く喜びを共有している ・『社会への貢献』『会社の存在価値』をBtoCを含め、広く社会に認識してもらう企業価値を向上させるための発信力を持っている

株価推移比較表



過去20年の連結売上高と営業利益



	Σ2003	NS2006	α2009	Revolution 2012	Acceleration 2015	Execution 2018	BASE100	NEXT100
テーマ	水中ポンプのリーディングカンパニーへの挑戦	新しい時代への変革	より付加価値のある技術・製品・サービスの提供を目指すグローバル企業へ	技術志向型企業への変革	グローバルスピード3倍速の実現	取組み課題を着実に実行し、期日内に、確実に、結果を出す	次世代への礎づくり	2024年の創業100周年へ向けて、さらに次の100年企業へ
副題	環境を最優先としたグローバル企業へ	環境を最優先としたグローバル企業へ	環境を最優先としたグローバル企業へ	環境を最優先としたグローバル企業へ	従来のグローバル戦略の加速度的な発展を通じ、世界市場のポジションを狙う！	グローバルグループとしての確固たる体制を築き、建機の優位性を保ちながら設備市場を深耕する	2024年の創業100周年へ向けて、さらに次の100年企業の礎となる事業基盤を確立する	施策を確実に実行し、目標達成する

主要な経営指標等の推移(連結)

決算年月	2003年3月	2004年3月	2005年3月	2006年3月	2007年3月	2008年3月	2009年3月	2010年3月	2011年3月	2012年3月	2013年3月	2014年3月	2015年3月	2016年3月	2017年3月	2018年3月	2019年3月	2020年3月	2021年3月	2022年3月	2023年3月
売上高(百万円)	26,136	26,296	28,105	33,183	34,140	32,979	31,256	28,153	29,863	32,202	35,148	38,365	41,936	40,013	39,064	40,347	43,461	45,604	45,325	51,214	56,219
営業利益(百万円)	1,626	2,411	2,525	3,062	2,981	3,136	2,074	1,975	2,304	2,469	2,893	4,412	4,932	5,100	4,294	4,637	4,945	5,166	5,549	5,508	7,263
連結経常利益(百万円)	2,015	2,621	3,096	4,503	3,693	2,898	2,325	2,276	2,351	2,819	3,797	5,031	6,091	5,062	4,534	4,703	5,734	5,475	6,404	7,368	8,991
連結当期純利益(百万円)	1,069	1,996	1,804	2,361	2,140	1,724	1,278	1,345	1,402	1,733	2,375	3,024	3,835	3,326	3,063	3,248	4,013	3,952	4,156	4,817	6,262
1株当たり当期純利益(円)	37.77	72.27	65.87	86.36	79.74	64.35	49.18	53.21	55.98	69.18	94.83	120.79	153.17	132.86	122.35	129.76	160.29	157.84	166	192.5	253.96
純資産(百万円)	28,296	30,508	31,496	33,173	34,793	34,638	33,727	34,700	35,772	37,131	40,810	44,732	49,657	50,644	53,364	56,642	59,405	62,010	66,874	71,848	78,161
1株当たり純資産(円)	1,023.48	1,104.57	1,155.62	1,233.10	1,296.65	1,304.76	1,325.51	1,383.84	1,426.92	1,481.26	1,610.63	1,758.67	1,948.60	1,986.07	2,098.01	2,227.01	2,338.55	2,442.19	2,635.21	2,841.77	3,137.70
ROE(自己資本利益率)(%)	3.8%	6.8%	5.8%	7.3%	6.3%	5.0%	3.7%	3.9%	4.0%	4.8%	6.1%	7.2%	8.3%	6.8%	6.0%	6.0%	7.0%	6.6%	6.5%	7.0%	8.5%
ROA(総資産利益率)(%)	2.5%	4.6%	4.1%	5.0%	4.2%	3.4%	2.7%	3.1%	3.2%	3.7%	4.8%	5.5%	6.3%	5.3%	4.8%	4.9%	5.7%	5.3%	5.2%	5.7%	6.7%
総資産(百万円)	43,456	42,849	45,243	50,039	50,748	49,672	44,309	43,578	45,303	47,490	51,921	57,915	62,954	62,355	64,785	68,699	72,160	76,939	81,487	87,299	99,000
期末発行済株式数(自己株式を除く)	27,627,345	27,620,427	27,254,812	26,902,582	26,814,299	26,526,328	25,423,148	25,058,116	25,053,552	25,050,791	25,046,694	25,040,446	25,038,896	25,038,727	25,038,631	25,038,462	25,038,256	25,038,129	25,038,129	24,925,689	24,505,533
株価(円)(3月末日時点)	502	665	938	1,390	1,177	657	573	658	629	673	792	1,332	1,707	1,610	1,627	1,872	1,983	1,941	1,815	1,819	2,073
時価総額(百万円)	13,868	18,367	25,565	37,394	31,560	17,427	14,567	16,488	15,758	16,859	19,836	33,353	42,741	40,312	40,737	46,872	49,650	48,599	45,444	45,339	50,799
1株当たり年間配当額(円)	16.00	20.00	20.00	20.00	20.00	20.00	16.00	16.00	16.00	16.00	18.00	23.00	30.00	25.00	24.00	24.00	31.00	34.00	36.00	40.00	44.00
配当性向(%) (連結)	42.4%	27.7%	30.4%	23.2%	25.1%	31.1%	32.5%	30.1%	28.6%	23.1%	19.0%	19.0%	19.6%	18.8%	19.6%	18.5%	19.3%	21.5%	21.7%	20.8%	17.3%
総還元性向(%)	50.9%	27.9%	44.1%	74.5%	30.1%	59.4%	92.0%	47.1%	28.8%	23.2%	19.1%	19.2%	19.6%	18.8%	19.6%	18.5%	19.4%	21.5%	21.7%	24.9%	30.1%
PBR(株価純資産倍率)(倍)	0.49	0.60	0.81	1.13	0.91	0.50	0.43	0.48	0.44	0.45	0.49	0.76	0.88	0.81	0.78	0.84	0.85	0.79	0.69	0.64	0.66

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいて算出したもので、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。

【お問い合わせ先】

株式会社鶴見製作所 社長室SDGs推進グループ 広報・IR課
TEL:06-6911-2351
Email:kabushiki@tsurumipump.co.jp